大阪 歯科
保険医新聞
2/5
2010年第1033号
（毎月5、15、25日発行）
大阪府歯科保険医協会
発行人　志岐　敬
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円　月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

診療報酬改善

会員の声携え国会要請

保険で良い歯科医療の実現を

協会・保団連

政府の来年度予算案で診療報酬の改定率がネットで0・19%、歯科は2・09%に決まったことを受け、協会・保団連は1月28日、過去4回連続のマイナス改定による歯科医療崩壊を食い止めるには不十分とし、予算編成に向け診療報酬引き上げや患者負担軽減などを求めて国会要請を実施した（関連2面）。

協会からは、下井戸昭介・山上紘志・吉田裕志副理事長、小山榮三理事・相談役、三井泰正理事、宮本辰雄・古田光行両監事、事務局合わせて10人が参加。会員から寄せられた次期診療報酬改定のパブリックコメント226人分を携え、大阪選出の衆参国会議員に基本診療料の大幅増などを訴えた。

全国から国会要請に参加した各協会に対し、激励のあいさつをした山上副理事長（保団連副会長）は、直近の報道で診療報酬の改定率が実質0・027%と判明したことに触れながら、「疲弊した医療の実態を訴えて、診療報酬をせめて3%以上にアップすることを求めてほしい」と呼び掛けた。

宮本岳志衆院議員（共産）

面談した森山浩行衆院議員（民主）は、協会からの「会員の多くは、初・再診料や入れ歯、被せ物の点数引き上げを望んでいる。請願署名の『橋渡し』をぜひともお願いしたい」との要請に対し、「府連と相談したうえで返答する」と述べた。

森山浩行衆院議員（民主）

宮本岳志衆院議員（共産）は、自主共済について「PTA共済だけを除外する法案が出てきている。健全に運営している自主共済は運用できるように努力したい」と話した。要請後、宮本議員は協会との懇談に応じ、診療報酬改定や民主政権の動向など意見交換した。

田中美絵子衆院議員（民主）との懇談では、厚労委員会で医療問題を取り上げる際、「協会・保団連にぜひ相談してほしい」と伝えた。

山下芳生参院議員（共産）

共産党の山下芳生参院議員は、国会の審議の合間を縫って協会との面談に駆けつけた。山下議員は「保険でよい歯科医療の実現を求める」請願署名1505筆の紹介議員を快諾すると、「来年度予算にむけて要求を少しでも実現できるよう力を尽くしたい」と表明した。

改定へのパブコメ

226人延べ702項目の意見厚労省へ

基本診療料・情報提供の改善求める声多数

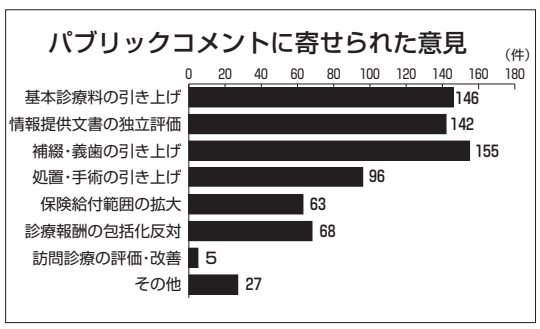
「同じ医療行為を行っても診療所と病院では初・再診料があまりにも違いすぎる。医療人として納得できない」――。厚労省が1月15日～22日に募集した次期診療報酬改定案のパブリックコメント（意見）について、協会が会員に提出を呼び掛けたところ、226人から延べ702項目もの意見が寄せられた。

意見では、初・再診料引き上げを望む声が延べ146件。情報提供文書の軽減や独立評価は同142件届いた。補綴の引き上げは最多の同155件寄せられ、補管の2年間の再製作禁止の撤回を求める意見が多数を占めた。そのほか、長期にわたって据え置かれてきた技術料など不合理を訴える声などが寄せられた。

会員の意見は協会のパブリックコメントと共に即時、厚労省に届けた。

協会のパブリックコメントでは、歯科の改定率2・09%が歯科医療崩壊を食い止めるには極めて不十分であることを踏まえ、次期改定を実りあるものにするために、すべての歯科医院が算定できる基本診療料・技術料の大幅なアップを重点に据えた。次期改定の骨子で補綴物維持管理料の見直しや、情報提供文書の図示・図説の追加が示唆されていることについては、補綴物の2年間再製作禁止と施設基準の廃止や、情報提供文書の独立評価などを求めた。

協会が取りまとめた意見は、匿名化した上で中医協委員や国会議員にも届けて改善を要請した。



寄せられた主な意見

- 患者との診療時間拡大のためにも、初・再診料の増額をお願いします
- 初診料を医科と同等にしてほしい
- 文書の作成ばかりでは、患者様の痛み・咬合は回復しません
- 患者は誰も文書をもらっても喜んでいない。ゴミ箱に直行だ
- 歯肉息肉除去の点数が無いのは納得できない
- 根管貼薬の点数が低すぎる

12月度生涯研修講座

自臭症は9割以上が治癒

重度の場合は診療内科へ

歯科臨床・学術学会部は「口臭治療について―今、大阪歯科大学附属病院の息さわやか（口臭）外来では！」と題して09年12月13日、12月度生涯研修講座を開き、52人が参加した。講師は、上田雅俊氏（大阪歯科大学歯周病学講座教授）。

上田氏は、口臭には生理的口臭と病的口臭があり、生理的口臭には増齢・早期時・空腹時・月経時・緊急時などのケースがあると指摘。病的口臭を全身的因子と局所的因子とに分けた上で、全身的因子として、消化器・鼻疾患・呼吸器系疾患など、局所的因子として、う蝕・不適合修復物・歯冠修復物の脱離・歯周病などをあげた。

さらにアンモニア・アミン類・硫化水素などの悪臭成分を示しながら、生理的口臭においては説明と口腔清掃指導が必要だとした。その上で病的口臭では、全身的には医科への紹介が必要であることや、歯周病変やう蝕など局所的な場合には補綴治療等が必要であること、自臭症においてはカウンセリングおよび投薬、重度になれば精神科や診療内科への紹介が必要であることを説明し、全体のうち95%が治癒すると述べた。

機器については、悪臭成分以外にも反応し測定にバラツキがあるものもあるとし、自臭症の人は測定値をあまり信用していないと指摘した。消臭に効き目があるものの例として、牛乳よりもビタミンCや野菜ジュースの方がよいと述べた。

口臭スプレーやリンス、ブレスケア・フィルムには持続性がなく、スプレーはほとんど効果がないことや、ハイザックスプレーは効果あるものの2～3時間で元に戻ると指摘。口臭消臭キャンディは、6～12時間持続すると強調した。

会員の弔慰について

速やかに協会事務局まで

管理部

大阪府歯科保険医協会は会員を対象に、社会慣習に従った弔慰をおこなっています。ご本人の死亡や家族（1親等）の死亡、診療所または自宅が火災・水害の被害にあわれた時は、速やかに協会事務局までご連絡ください。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。
（郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください）

歯界

鳩山内閣の誕生は長年の自民党政権の腐敗に、さすがに我慢強い国民にも堪え難くなってきたせいだと私は解釈している。だが、せっかくの鳩山政権への期待が急速に萎みつつある。

特に目立った失政というよりも金権体質への嫌気が主な理由かもしれないし、医療福祉の改善が期待外れのせいもある。予算の審議が当面の課題だろうが、沖縄の普天間基地の移設とインド洋の給油サービスの課題が自公政権との違いを見せる好機である。

人間重視の理想的な政権誕生を望んでも、拙速な改善は多分弱者への矛盾の皺寄せがくる。世の隅々までが金権体質になり、別な価値観が閉息状態にある。だが、国家や民族の発展を最優先する価値観が企業発展最優先と競っても人間尊重の視点からは大差ない。

漸進を目指して我慢する局面かもしれない。ただし年間3万人もの自殺者を救う手立ては、拙速でも理念最優先が望まれる。